

説 教

第2アドベント礼拝

北浜チャーチ

黒田 禎一郎

2022年12月4日（日）

主 題：「あなたには楽しみと喜びが待っている」

－荒野と砂漠に花が咲く－

テキスト：イザヤ書35章1－10節

**はじめに**

- ・今日は、第二アドベント聖日礼拝を迎えています。イエス・キリストの誕生が、さらに近づいてきました。感謝です。今日のメッセージ・テーマは「あなたには楽しみと喜びが待っている」です。
- ・私は説教テキストとして、旧約聖書のイザヤ書35章を引用させていただきます。このテキストは、神がご自身のお心（意志）を示された預言書です。それは紀元前8世紀ごろ、やがてイスラエルの将来に、何が起こるか預言された箇所です。
- ・皆さんもご存知のように、彼らは神に愛され、選ばれた民でした。しかし神への不従順のために、彼らは敵国によって滅ぼされ、バビロンへ捕囚の身となると、預言されました。しかし、「捕らわれ人」（奴隷）となっても、イスラエルはイスラエルであり、「希望の光」があると語られました。
- ・イザヤは次のように預言しました。

35:1 荒野と砂漠は喜び、荒れ地は喜び躍り、サフランのように花を咲かせる。

35:2 盛んに花を咲かせ、歓喜して歌う。これに、レバノンの栄光と、カルメルやシャロンの威光が授けられるので、彼らは【主】の栄光、私たちの神の威光を見る。

⇒ここには、大切なことが2点秘められています。

- ① イスラエルの回復、 ③新しい天地の到来。

- ・聖書はイスラエルの荒野と砂漠に、「サフランのように花を咲かせる」と語っています。荒野と砂漠に花が咲くとは、信じられないことです。サフランは紀元前からヨーロッパで、香料・染料として利用されていました。
- ・めしべは乾燥させて、香辛料や生薬として用いていました。サフランは独特の香りを持ち、水に溶かすと鮮やかな黄色を呈します。収率が低いため貴重です。サフランの価格は現在でも、1gあたり約5ドル（約700円）と高価です。
- ・古代ギリシアではサフランの黄色が珍重され、王族だけが使うことを許されたロイヤルカラーとされた時代もあったそうです。{日本へは江戸時代に、

「薬として」伝わったと言われます。}

これが「サフラン」で、神は荒野と砂漠に、「サフランのように花を咲かせる」と語られました。⇒これこそ喜びであり、楽しみではありませんか！

「荒野と砂漠は喜び」⇒それは、どんな意味でしょうか。

それはイスラエル国の回復預言のことを示しています。

- ・イスラエルの地理的状况を考えてください。現在では北部のレバノン、中部のカルメル、地中海側のシャロンの土地は、農作物が実る豊かな肥沃な土地となっています。皆さん。これらの土地は荒野と砂漠でした。しかし、今は変貌してきました。聖書は、美しさと豊かさを持つようになると言います。しかも神は、イスラエルはそれを見ると預言されました。
- ・この預言は1948年5月14日、イスラエル建国以来、部分的に成就しています。それ以前のパレスチナは、荒廃した砂漠（年間雨量50ミリ）で、荒野（不毛の地）でした。しかし、世界に離散していたユダヤ人たちがパレスチナ南部のネゲブの荒野（Negev desert）に戻って来ました。今では、そこにキブツ（イスラエルの集団農場）ができ、人々は砂漠の地に水を引き、作物を植え開墾しました。現在、ネゲブの荒野は「ネゲブ平野」と呼ばれ、緑と花に包まれています。そして、人々が定住生活し、町（city）ができています。
- ・イスラエルの初代首相であったベングリオン（Bengrion）氏は、「イスラエルの将来は、荒野をどれだけ開拓できるかにかかっている」、と語りました。

35:1 荒野と砂漠は喜び、荒れ地は喜び躍り、サフランのように花を咲かせる。

聖書 ⇒ 喜びなさい！ 神の栄光を見る！ と語っています。

\* 今日のテキスト、イザヤ書35章は私たち大切なことを語っています。2点

## 大切なポイント

### 1. 神の励ましと約束

#### 1) 回復の励まし

- ・預言者イザヤは、神の霊を受けて励ましのメッセージを語りました。

35:3 弱った手を強め、よろめく膝をしっかりとさせよ。

35:4 心騒ぐ者たちに言え。「強くあれ。恐れるな。見よ。あなたがたの神が、復讐が、神の報いがやって来る。神は来て、あなたがたを救われる。」

- ・神はイスラエルに呼びかけられました。この御言葉は、離散ユダヤ人たちに、国を失った民に与えられた言葉でした。AD70年、エルサレムの都はローマ軍によって破壊され、完全に陥落しました。彼らは国を追われ、世界各地へ離散しました。絶望感、無力感、迫害、差別、落胆と多くのことを味わい

ました。すなわち、イスラエルは国際社会において、弱い存在になると言われました。

- しかし、そこには神の励ましがあります。聖書は、「**神は来て、あなたがたを救われる。**」と預言されました。ですから主である神を信じ、「**強くあれ、恐れるな。**」と言われました。それは神とイスラエルの関係を現わしています。神は常に、「**強くあれ、恐れるな。**」とイスラエルを励まされました。
- 皆さん！神のみ言葉は、あらゆる時代に生きる人々に励ましを与えるものです。ヘブル書の著者は、信仰のゆえに迫害を受けている聖徒たちに、次のように語りました。
  - 12:12 **ですから、弱った手と衰えた膝をまっすぐにしなさい。**
  - 12:13 **また、あなたがたは自分の足のために、まっすぐな道を作りなさい。足の不自由な人が踏み外すことなく、むしろ癒やされるためです。**
- これが聖書の神です。イスラエルの民が弱くなり力を失ったように、私たちも力を失い、立ち上がれないほどの経験をすることがあります。しかし、それでも私たちが神を信頼するならば、神は約束を守られるお方です。
- そこで大切なことがあります。それは神の励ましの言葉を受け止めるに、「信仰が必要」であることです。また、神の預言の言葉を受け止めるに、「信仰が必要」であることす。信仰が働かなければ、神の励ましも受け入れられません。神は信仰を持つ人を導き、励ましを与えてくださるからです。

## 2) 回復の約束

- ところで、神はイスラエルの民に、天来の祝福を約束されました。しかも誰の目にも分かるように、明らかな変化を示すと言われました。それはイスラエルの回復です。 **新共同訳**
  - 35:5 **そのとき、見えない人の目が開き、聞こえない人の耳が開く。**
  - 35:6 **そのとき、歩けなかった人が鹿のように躍り上がる。口の利けなかった人が喜び歌う。荒れ野に水が湧きいで、荒れ地に川が流れる。**
- イザヤ書29章は次のように語っています。
  - 29:17 **もうしばらくすれば、確かに、レバノンが果樹園に変わり、果樹園は森とみなされるようになる。**
  - 29:18 **その日、耳しいた者が書物のことばを聞き、盲人の目が暗黒とやみの中から物を見る。**
  - 29:19 **へりくだる者は主によっていよいよ喜び、貧しい人はイスラエルの聖なる方によって楽しむ。**
- これらの預言は、イスラエルの回復を指し、荒地が再び祝福を受けるとい

ものです。約2千年前、イエス・キリストが来られた時、喜びがもたらされました。イエスの誕生は、やがてイスラエルに来る喜びの前味でした。

**イザ 35:7 焼けた地は沢となり、潤いのない地は水の湧くところとなり、ジャッカルが伏したねぐらは葦やパピルスの茂みとなる。**

これもイスラエルの回復預言です。

- 喜びの日には、歩けなかった人が鹿のように躍り上がると言いました。山犬（ジャッカル）集まるところは、葦やパピルスの茂みとなる、と言いました。山犬という動物は、体長65～106cm、尾20～41cmほどで、オオカミに似ていますが耳は大きいです。体は薄い金色～黄褐色で、背と尾には黒色の毛が多いです。平原や林に1～6頭で棲み、夜出て猛獣の食べ残しをあさるほか、ネズミやウサギなどを襲います。穴を掘るのが上手く、4～9匹の子を生む。その山犬の住み家が、葦やパピルスの茂みとなるのです。
- そこには水が湧きだし、川が流れる⇒ 水は荒地で大変貴重なものです。イザヤ書 4 1 章；

**41:18 わたしは裸の丘に川を開く。平地のただ中には泉を。荒野を水のある沢とし、砂漠の地を水の源とする。**

**イスラエルは回復する ⇒これが聖書の約束です**

- 聖書預言の成就是、聖書の信憑性にかかっています。神は、私たちの心の目を開くために、預言とその成就をとおして語りかけておられます。それは神の真実を示すためです。
- 今、死海（塩の海）で起こっている「しるし」に注目ください。それはエリコに近い「エン・ゲディからエン・エグライム」までで起こっている事実です。（死海エンゲジ近くの写真を提示）

#### • エゼキエル書 4 7 章

**47:9 この川が流れて行くどこでも、そこに群がるあらゆる生物は生き、非常に多くの魚がいるようになる。この水が入ると、その水が良くなるからである。この川が入るところでは、すべてのものが生きる。**

**47:10 漁師たちは、そのほとりに立つ。エン・ゲディからエン・エグライムまでが網を干す場所になる。その魚は大海の魚のように、種類が非常に多くなる。**

**47:11 しかし、その沢と沼は水が良ならず、塩を取るのに使われる。**

**47:12 川のほとりには、こちら側にもあちら側にも、あらゆる果樹が生長し、その葉も枯れず、実も絶えることがなく、毎月、新しい実をつける。その水が聖所から流れ出ているからである。その実は食物となり、その葉は薬となる。」**

- ・神が介入されると、荒野も砂漠も神の栄光に包まれます。そこには回復があり、希望があります。神はBC800年ごろ、預言者イザヤをとおしてイスラエルに励ましと約束を与えられました。このことを信仰の目で受け止めてください。次に、神は、神を信じる者に幸いな祝福を約束されています。

## 2. 神が備える祝福の道

35:8 そこに大路があり、その道は「聖なる道」と呼ばれる。汚れた者はそこを通れない。これは、その道を行く者たちのもの。そこを愚か者がさまようことはない。

- ・神の栄光が明らかにされると、世界は変貌します。そこには霊的秩序が確立されます。ここに大切なことが書かれています。

### 1) 贖われた者

- ・神はイスラエルを贖われるお方です。8節にある「贖う」という言葉は、原語で“gaal”（ガーアル）です。その意味は、⇒『金（代価）を払い買い戻す』ことです。もし金で買い戻すことができない場合は、血でもって買い戻さなければなりません（申命記19：12）。それほど強い意味が含まれます。
- ・出エジプト記を開いてみてください。
 

6:6 それゆえ、イスラエルの子らに言え。『わたしは【主】である。わたしはあなたがたをエジプトの苦役から導き出す。あなたがたを重い労働から救い出し、伸ばされた腕と大いなるさばきによって贖う。

ここで用いられている「贖う」は、“gaal”（ガーアル）です。

35:10 【主】に贖われた者たちは帰って来る。彼らは喜び歌いながらシオンに入り、その頭にはとこしえの喜びを戴く。楽しみと喜びがついて来て、悲しみと嘆きは逃げ去る。
- ・ここで用いられている「贖う」は、別の言葉で原語でpadah:パーダーです。それは、負債を負う奴隷を解放するという意味です。日本語訳聖書では、同じように「贖う」という言葉が用いられています。しかしイザヤは、「贖う」をこのように別の角度から表現しました。
- ・神は、失われた者の生命を、①金ではなく御血によって買い戻すお方です。そして、②敵の奴隷であった者を解放してくださるお方です。預言者イザヤは、それを35章において美しく歌い上げました。その讚美の歌声は、天にまで届きます。
- ・しかし、更に幸いなことは「贖い」という事実の深さです。神は一人子イエ

スを、この地に送られました。正しく「贖い」を成就するために、神ご自身が、失われた生命を血で買い戻してくださいました。イエス・キリストの〈贖いのみわざ〉は、ここにあります。天の御国に入る「聖なる道」は、その〈購われた者〉に神が備えておられるのです。ヨハネ黙示録

21:27 しかし、すべての汚れたもの、また忌まわしいことや偽りを行う者は、決して都に入れない。入ることができるのは、子羊のいのちの書に記されている者たちだけである。

\* 天の都に入る者は、贖われた者で（キリストの御血によって）、その名前が「いのちの書」に書かれた者のみです。

## 2) 喜び歌いながらシオンに入る

35:10 【主】に贖われた者たちは帰って来る。彼らは喜び歌いながらシオンに入り、その頭にはとこしえの喜びを戴く。楽しみと喜びがついて来て、悲しみと嘆きは逃げ去る。

・主に贖われた者は、〈喜び歌いながらシオンに入る〉のです。

ところで、預言者イザヤは、やがて生まれる御子を預言しました。

7:14 それゆえ、主は自ら、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。

「インマヌエル」（神は私たちとともにおられる）

・これは御子イエスの誕生であるクリスマスの預言です。この預言の言葉が語られてから約800年後、イエス・キリストは生まれました。確かに現実のこととなりました。インマヌエルと呼ばれる御子が誕生しました。そのお方こそ神の子羊です。そして

・小羊イエスの血によって罪が洗われた者が、神の前に〈贖われた者〉です。そして、その人こそ〈聖なる道〉を歩む者です。しかも、その人は〈喜び歌いながら〉天の都に入るものです。ハレルヤ！

{例 話} 「帰還ユダヤ人たちの姿」

・1948年5月14日、ユダヤ人たちは聖書預言どおり、パレスチナにイスラエルを建国しました。それ以降、離散（diaspora:ディアスポラ）ユダヤ人たちが順に、父祖の国イスラエルへ帰還し始めました。それから、1989年11月9日 ⇒「ベルリンの壁」は崩壊しました。その時、歴史は大きく動きました。

・ソ連・東欧からだけでも百万人以上のユダヤ人が、⇒イスラエルへ帰還しました。ここにイスラエルの人口の動向表があります（別紙参照：イスラエルの人口動向）。

私は帰還ユダヤ人たちが、テルアビブ空港で、又ハイファの港で、地にひざまずき口づけしている姿を見たことがあります。感 激！

- ・ 皆さん。これは歴史上の事実ですが、そこに神のマスタープランがあることを覚えなければなりません。では、「なぜ」聖書はイスラエルとその民の動きを預言しているのでしょうか。それは、神と私たちの関係を示す「型」だからです。
- ・ 多数のユダヤ人たちは地上のシオン（エルサレム）へ、喜び踊りながら戻ってきています。しかし私たちは、天のシオンへ向かう民です。それは小羊の血によって「贖われた者」の特権です。新しい天と新しい地に入るその日は、特別な喜びに包まれます。
- ・ ですから私たちは弱った手を強め、よろめく膝をしっかりとすることが出来るのです。日々の生活のなかでは、私たちは弱いものです。まっすぐ立てないようなものです。しかし、それでも神に贖われた者への約束は「然りであり、アーメン」です。
- ・ クリスマスは、すぐそこにやって来ています。全人類の救い主、神の小羊であるイエス・キリストの誕生です。このお方は、私たちを贖ってくださるお方です。私たちは喜びと感謝をもって、お迎えようではありませんか。

## ま と め

主 題：「あなたには楽しみと喜びが待っている」

— 荒野と砂漠に花が咲く —

- ・ 神はイスラエルが不従順な民であったにも関わらず、イザヤを通しメッセージを与えられました。それは一言でいえば、「神の祝福」です。イザヤ書 35章は、神の祝福の約束です。
- ・ 今日、私たちは第二アドベント聖日を迎えました。神は神を信頼する者に、励ましと約束を与えられました。神の約束は、天のエルサレムに向かう祝福の道です。では、神の約束の地に入る者とは、どんな人でしょうか。
  1. 御子イエスの血によって「贖われた者」です。
  2. その人には楽しみと喜びが待っています。

\* God bless you!